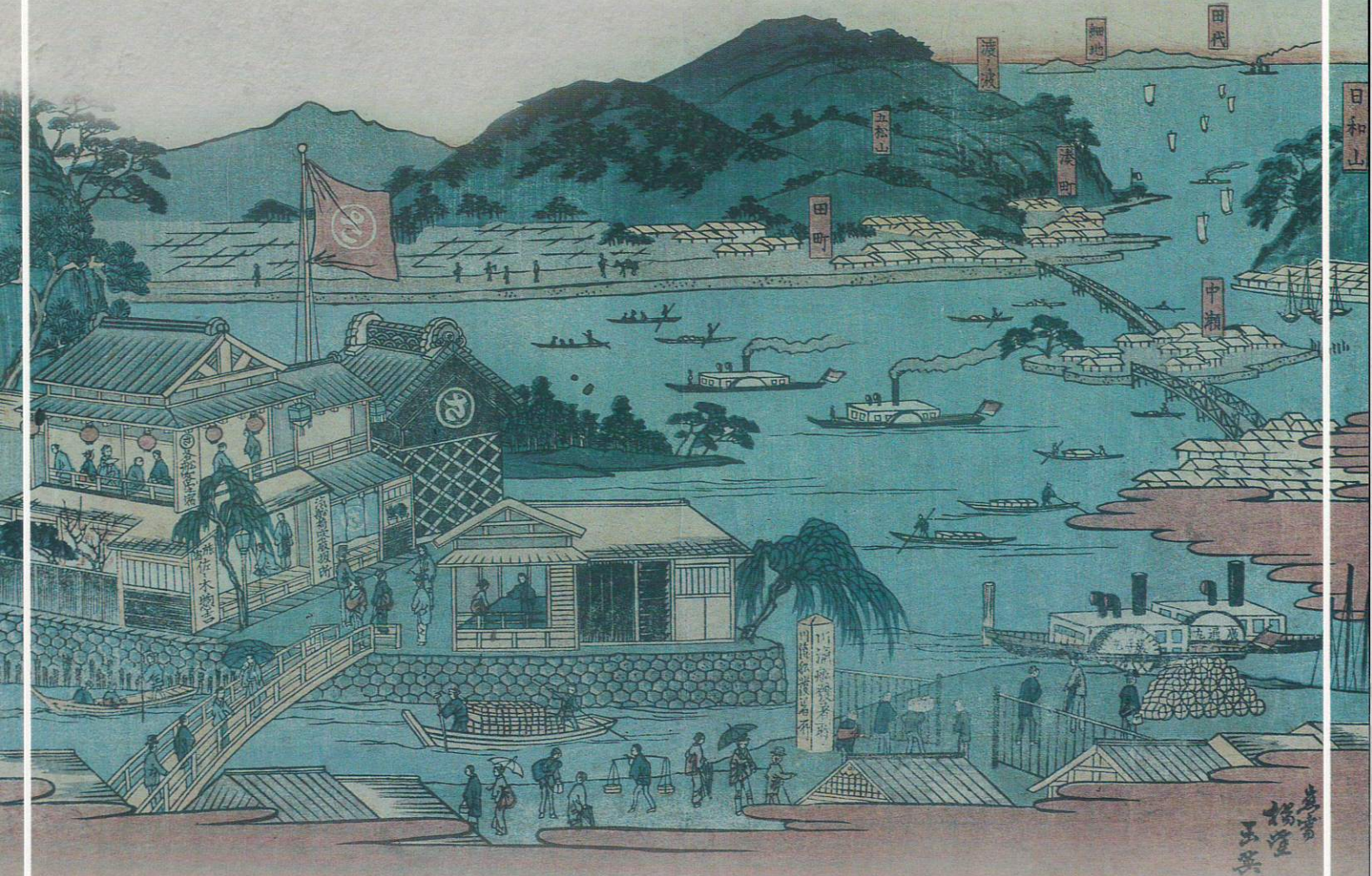


特別展 毛利コレクション展

なつかしい石巻

毛利コレクションに見る近代石巻のあゆみと風景



平成17年

石之巻川汽船發着所及佐々木惣吉旅店の圖(明治20年頃) 毛利コレクション

10月21日金 ▶ 12月11日日

観覧時間 9:00~16:30

休館日 10月24日,31日,11月4日,7日,11日,14日,24日,28日,12月5日

観覧料金 一般 400円(320円) 高校生 200円(160円) 小中生 80円(60円)
※上記料金で企画展・常設展とも観覧できます。()内は20名以上の団体料金

主催/石巻文化センター・財団法人石巻市文化スポーツ振興公社
後援/河北新報社・石巻日日新聞社・三陸河北新報社・NHK仙台放送局・TBC東北放送
山形放送・MYKテレビ・KHB東日本放送・ラジオ石巻

学芸員による展示解説会

10月29日(土)・11月13日(日) 午後2時より



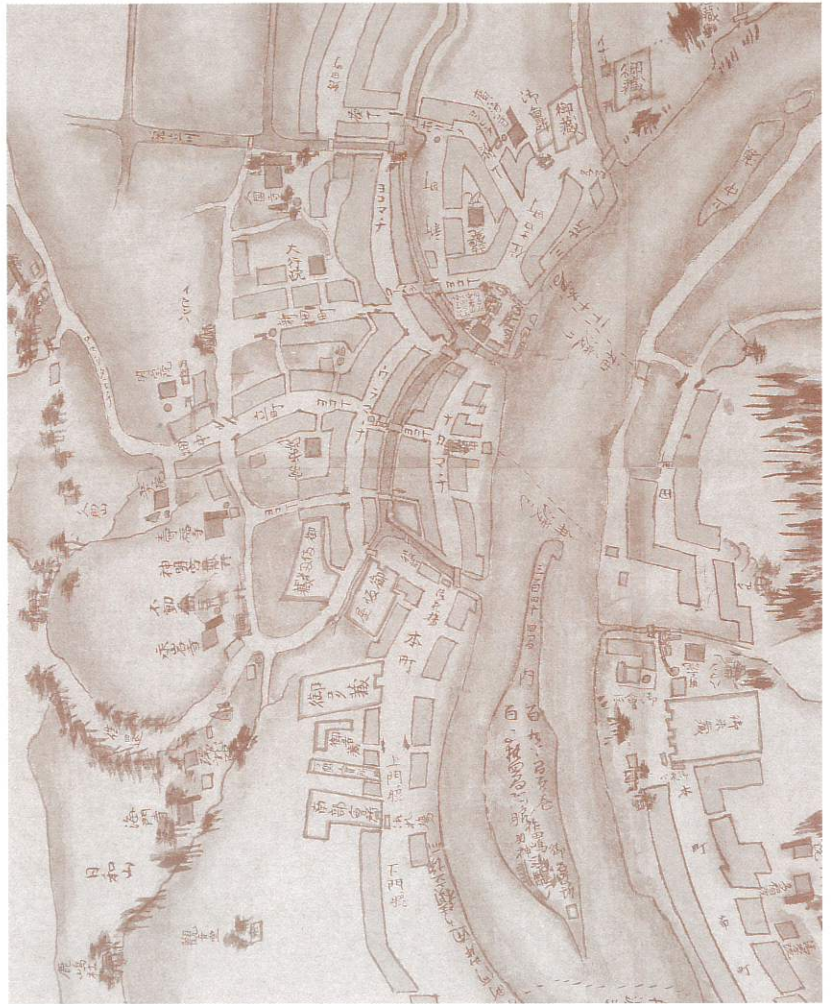
■開催趣旨

幕末の動乱後、明治・大正・昭和の石巻がどのように歩んできたのでしょうか。また、私たちの住む町並みは、どのように変わってきたのでしょうか。毛利コレクションには、こうした近代石巻のあゆみを知ることができる資料が多数あります。

今回の特別展では、黒船来航によって幕を開けた日本近代化の流れの中で、石巻がどのように歩んできたのか、毛利コレクションを中心として、その歴史をたどってゆきます。また、幕末から昭和にかけての地図や写真などをもとに、石巻の町並みの移り変わりや、人々の暮らしを振り返って見たいと思います。

なお、今回は毛利コレクションのほか、石巻市内の商店や学校、保育所、さらには個人の方からも御協力いただき、昔の商店の看板や酒徳利、戦争関連資料や写真などもあわせて展示できることとなりました。

石巻の歴史を語る貴重な資料の数々を、この機会にぜひご覧ください。



安政五年石巻絵図(部分) 毛利コレクション

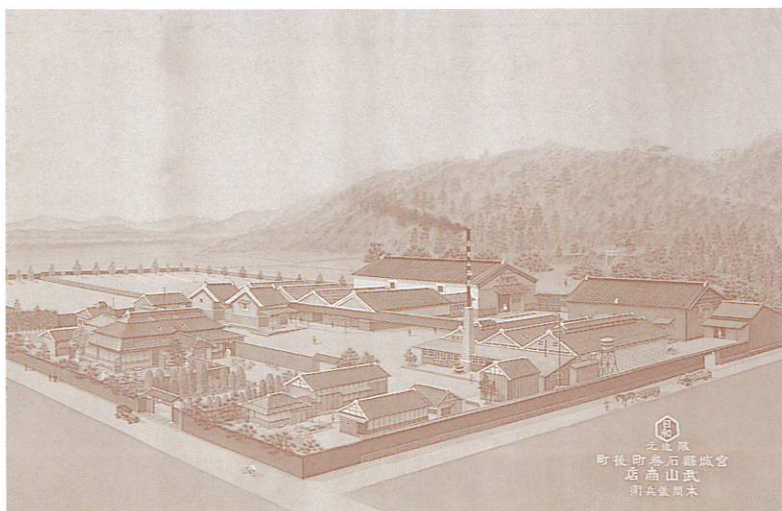


毛利屋引札(明治44年) 石巻文化センター所蔵



鈴木屋商店看板 鈴木康雄氏所蔵

武山商店(本間屋)鳥瞰図(昭和初期) 本間英一氏所蔵



青い目の人形(昭和2年) 広瀬保育所所蔵